



“地域のことは地域で考えよう”

2016年11月28日

おきぎん県内景況・速報 2016年10月

一県内景況は、拡大している一

■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。
百貨店売上高は前年同月を下回る。
家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数は上回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を下回る。
生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。
ホテル稼働率は、ビジネスホテルが前年同月を上回り、シティホテル、リゾートホテルは下回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

■企業倒産

件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2016年10月分)

◎2016年10月 おきぎん「カトレア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

10月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は「衣料品」や「身の回り品」の売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、冷蔵庫や洗濯機の売上減少などにより前年同月を下回りました。新車販売台数は普通乗用車などの需要増加から前年同月を上回りました。

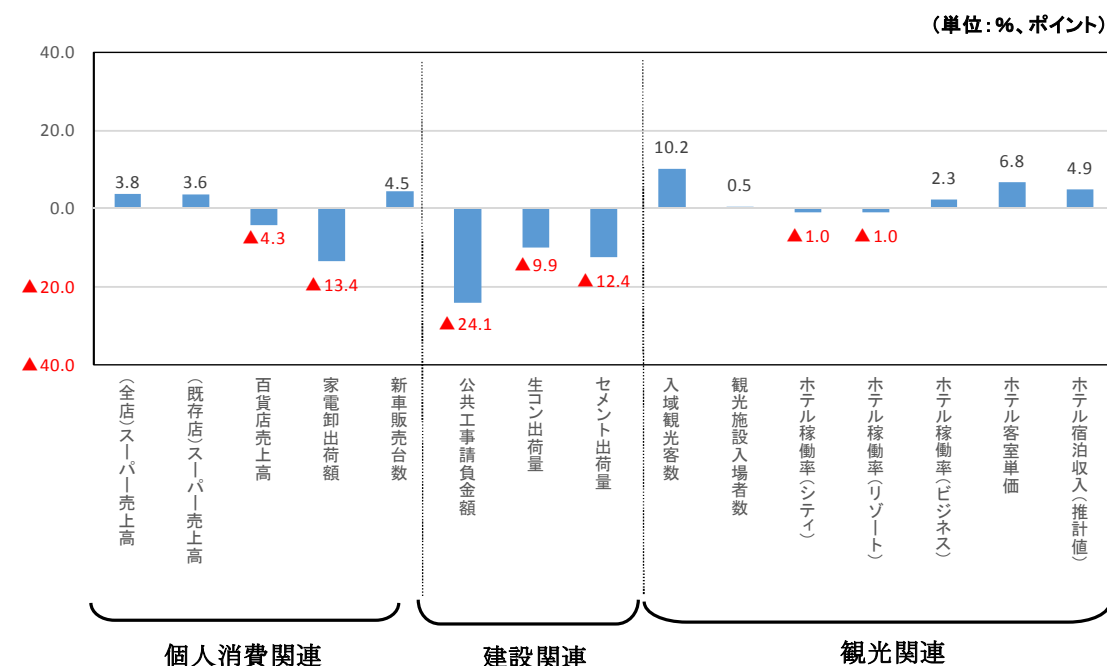
建設関連では、公共工事請負金額は、国やその他公共的団体発注による工事減などで前年同月を下回りました。建設資材である生コンやセメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は49ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はビジネスホテルが前年同月を上回り、シティホテル、リゾートホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から33ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比



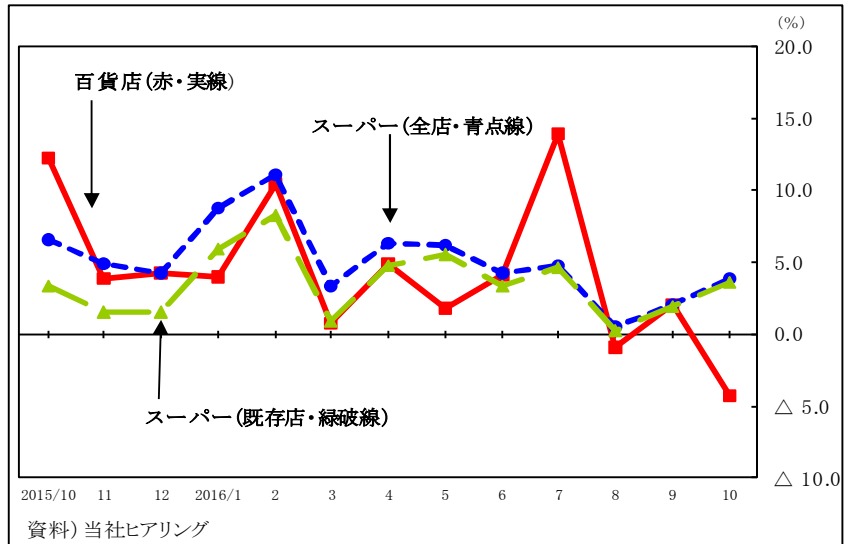


■個人消費： (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2015/10	6.6	3.3	12.3
11	4.9	1.5	3.8
12	4.2	1.5	4.2
2016/1	8.8	5.9	4.0
2	11.1	8.3	10.5
3	3.3	0.9	0.7
4	6.3	4.8	4.9
5	6.2	5.5	1.8
6	4.2	3.3	4.1
7	4.8	4.6	13.9
8	0.5	0.2	△ 0.9
9	2.1	1.9	2.0
10	3.8	3.6	△ 4.3

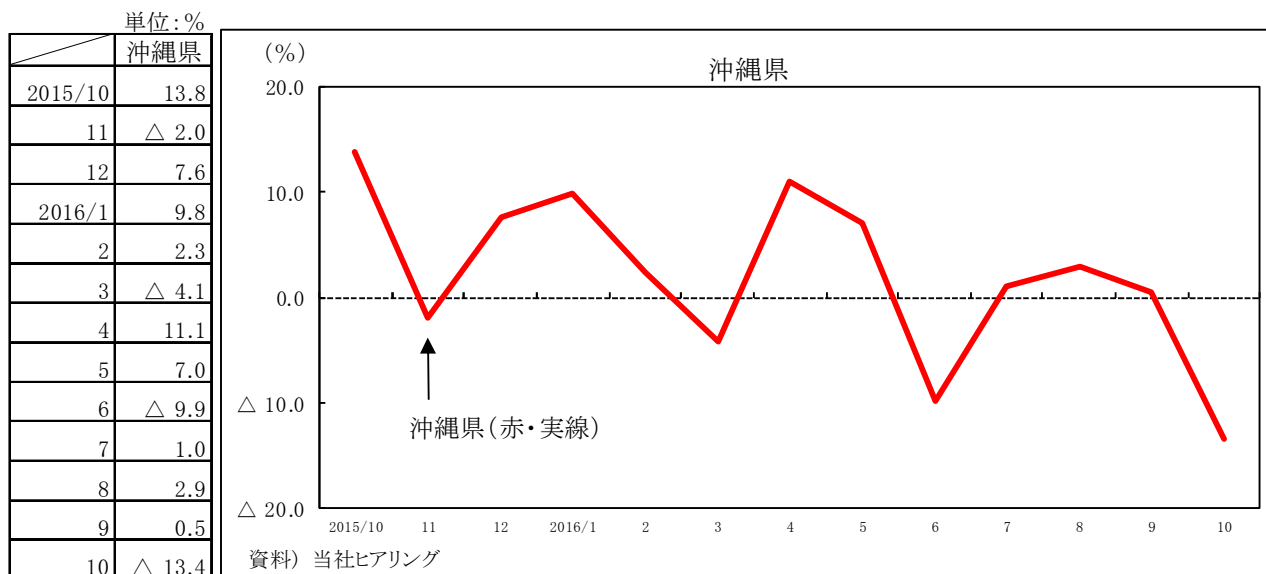


注) 前年同月比

10月の個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース(前年同月比 3.8%増)」が19ヵ月連続で前年同月を上回りました。台風18号接近による影響(営業時間短縮や一部店舗の臨時休業)がみられたものの、前年より日曜日が1日多かったことや新規出店効果などにより、ウエイトの高い「食料品(同 3.1%増)」の売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。「既存店ベース(同 3.6%増)」は、一部店舗で改装に伴う休業があったものの、改装後の集客効果などから、19ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同 4.3%増)」は、一部青果(レタスなどの葉野菜、じゃがいもなどの根野菜)で相場高騰が続いているものの、生鮮全般(精肉・水産・青果)や惣菜の売れ行きが概ね堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。また、家電を含む「家庭用品(同 3.5%増)」は、一部の白物家電(洗濯機、冷蔵庫)で前年に伸びた反動がみられたものの、エアコンやテレビなどの売れ行きが堅調だったほか、訪日観光客による雑貨(化粧品、小物類)需要も堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。一方で、「衣料品(同 3.9%減)」は、気温が高く推移したことなどから秋冬商材の売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、周年企画開催による集客効果がみられたものの、気温高や台風18号接近による臨時休業の影響などから、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました(同 4.3%減)。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品(同 6.9%減)」は、主力商品である「婦人服(同 5.1%減)」や「紳士服(8.8%減)」などが、キャンペーン企画などの販促強化を図ったものの、気温が高く推移したことなどから秋冬商材の売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。「身の回り品(17.7%減)」は、衣料品同様、気温高の影響により冬物婦人靴などの売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。また、「食料品(同 0.5%減)」は、一部青果で相場高騰が続いているほか、生鮮全般(精肉、水産、青果)や惣菜などの売れ行きが伸び悩んだことなどから、前年同月を下回りました。一方で、「雑貨(同 2.9%増)」は、主力商品である化粧品などで臨時休業の影響がみられたものの、継続的な国内外客需要で売れ行きが堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。

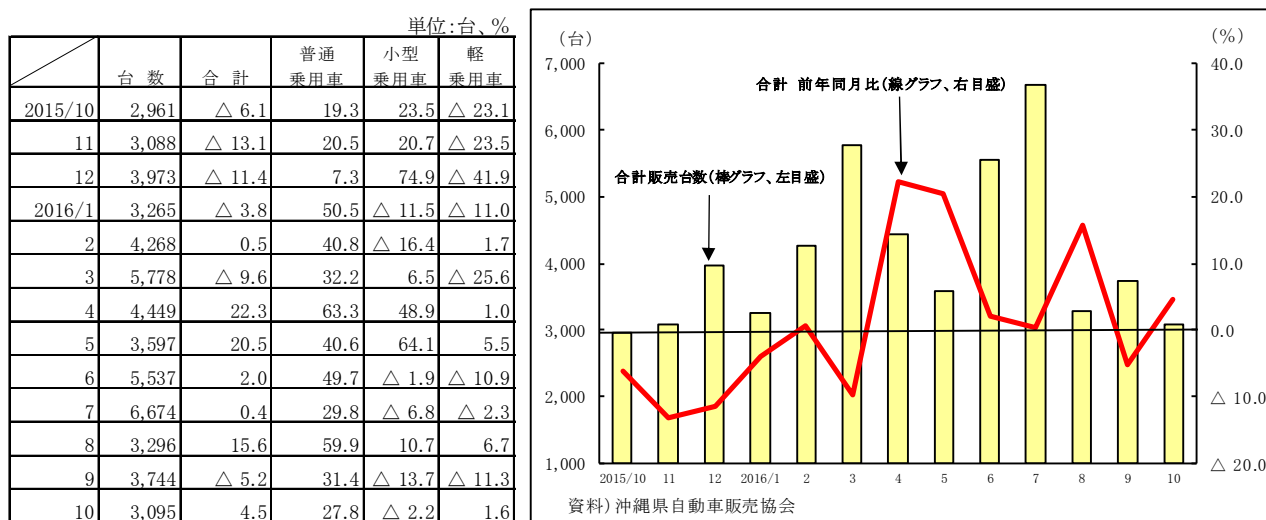
②家電卸出荷額…冷蔵庫や洗濯機の売上減少などにより、前年同月を下回る。



注) 前年同月比

家電卸出荷額は、冷蔵庫や洗濯機の売上減少などにより、4 ヶ月ぶりに前年同月を下回りました(同 13.4%減)。品目別では、「テレビ(同 5.9%増)」は新型商品効果や旧型商品の販促効果などから、「エアコン(同 52.4%増)」は前年に落ち込んだ反動や気温高の影響などから、それぞれ売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。一方で、「冷蔵庫(同 13.2%減)」や「洗濯機(同 2.4%減)」などは、新型商品効果がみられたものの、高価格帯商品の売れ行きが伸び悩んだことなどから、前年同月を下回りました。

③新車販売台数…普通乗用車などの需要増加から、前年同月を上回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で 3,095 台(同 4.5%増)となり、2 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「小型乗用車(同 2.2%減)」は、前年に伸びた反動などから 2 ヶ月連続で前年同月を下回りました。一方で、「普通乗用車(同 27.8%増)」はレンタカー需要の増加などから 13 ヶ月連続で、「軽乗用車(同 1.6%増)」は前年に落ち込んだ反動などから 2 ヶ月ぶりに、それぞれ前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

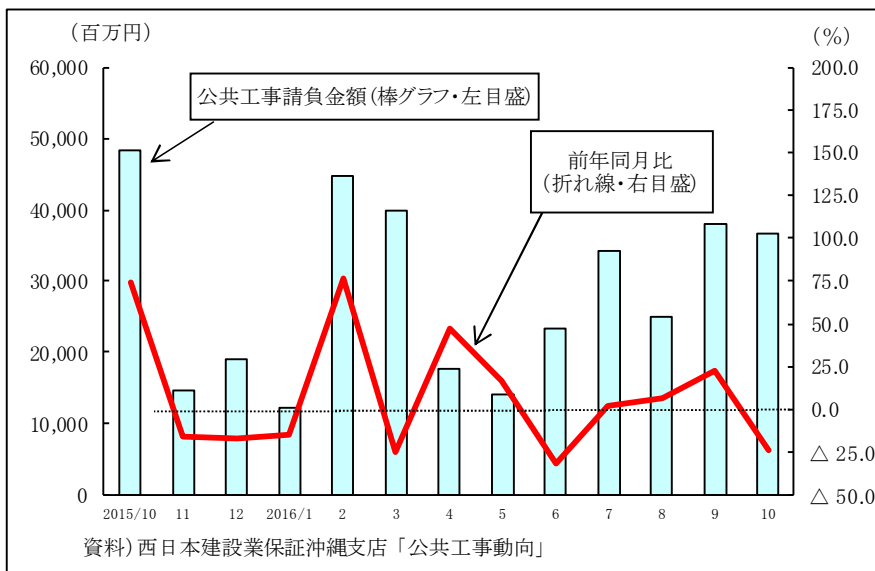


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2015/10	48,301	74.7
11	14,816	△15.4
12	19,114	△16.8
2016/1	12,202	△15.0
2	44,788	76.4
3	39,972	△24.7
4	17,690	47.5
5	14,261	16.8
6	23,421	△31.8
7	34,156	2.0
8	24,997	7.0
9	37,867	22.8
10	36,683	△24.1

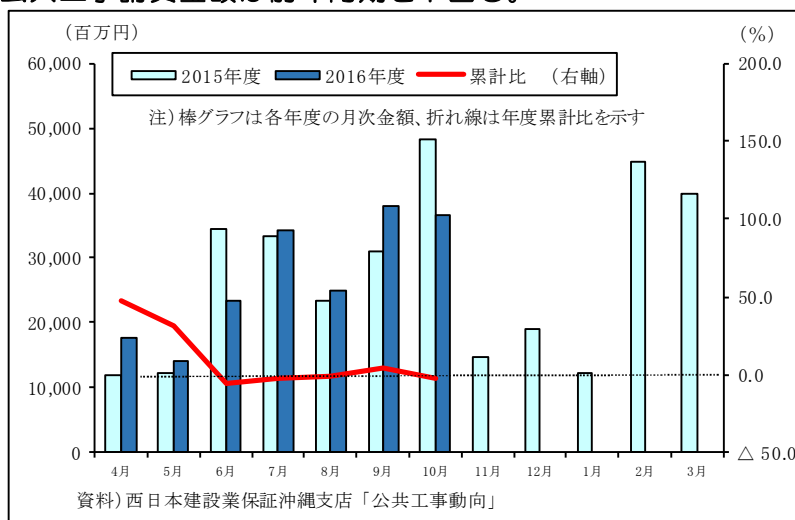


10月の公共工事請負金額は、前年同月比24.1%減の366億8,300万円となりました(4ヵ月ぶり減)。発注者別でみると、「国(同9.8%減)」は前年あった沖縄防衛局関連の与那国駐屯地関連工事などの反動、「その他の公共的団体(同97.6%減)」はモノレール旭橋駅周辺市街地開発関連工事など大型工事の反動などで前年同月を下回りました。一方、「沖縄県(同17.1%増)」は都市モノレール関連工事や浄化センター関連工事などの大型工事など、「市町村(同40.9%増)」は小学校関連工事や市営住宅関連などの大型案件など、「独立行政法人等」も前年同月を上回りました。

【参考】公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を下回る。

単位:百万円、%

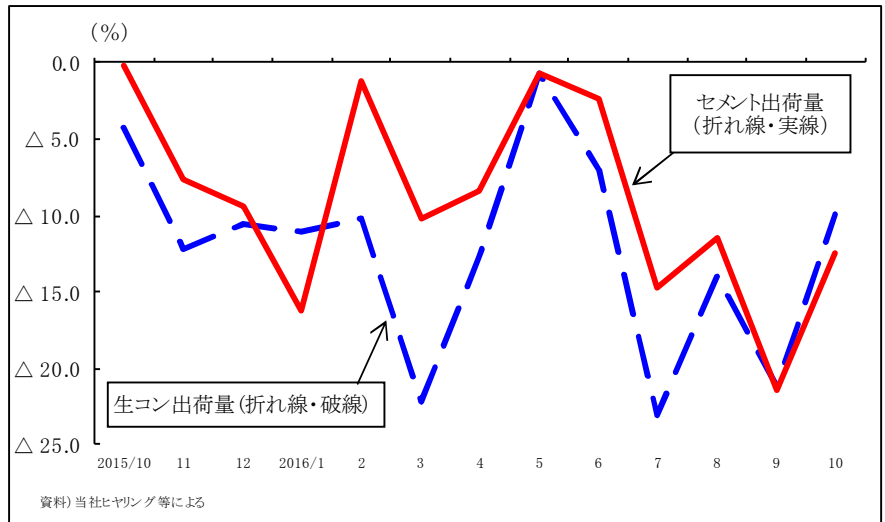
	2015年度	2016年度	累計比(右軸)
4月	11,991	17,690	47.5
5月	12,215	14,261	32.0
6月	34,358	23,421	△5.5
7月	33,472	34,156	△2.7
8月	23,352	24,997	△0.7
9月	30,835	37,867	4.2
10月	48,301	36,683	△2.8
11月	14,816		
12月	19,114		
1月	12,202		
2月	44,788		
3月	39,972		



今年度4～10月までの累計を前年度同期と比較すると、2.8%減となっています。(上記折れ線グラフ)

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

単位:前年同月比(%)		
	生コン	セメント
2015/10	△ 4.2	△ 0.2
11	△ 12.2	△ 7.7
12	△ 10.5	△ 9.4
2016/1	△ 11.0	△ 16.3
2	△ 10.2	△ 1.2
3	△ 22.2	△ 10.2
4	△ 12.7	△ 8.4
5	△ 0.7	△ 0.7
6	△ 7.1	△ 2.4
7	△ 23.1	△ 14.8
8	△ 14.0	△ 11.4
9	△ 21.2	△ 21.4
10	△ 9.9	△ 12.4

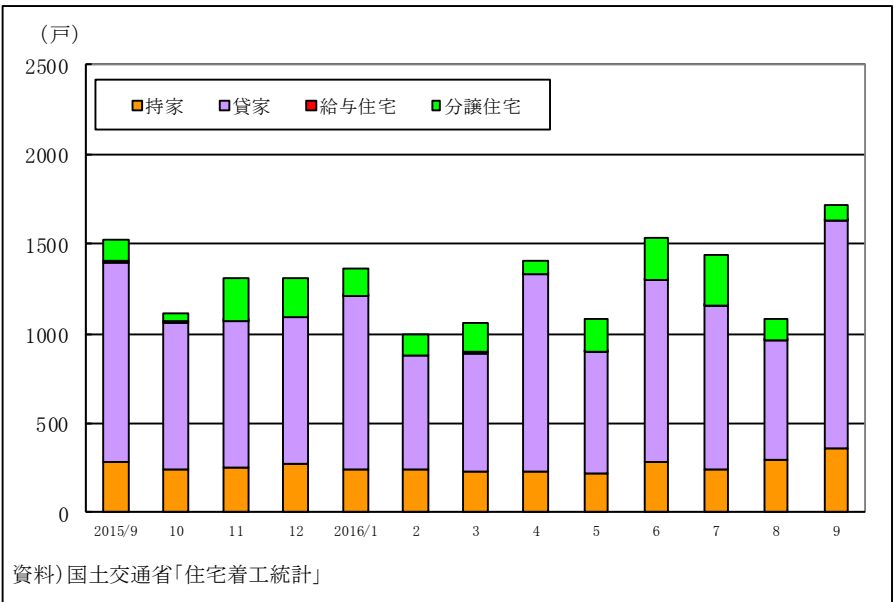


(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、**生コン**の出荷量は 9.9%減少し 13 ヶ月連続で前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より 15.8%下回り、民間工事向け出荷も 6.5%下回りました。**セメント**出荷量も 12.4%減と 13 ヶ月連続で前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資(9月)…着工戸数は前年同月を上回る。

単位:戸、%		
	着工戸数	前年同月比
2015/9	1,527	17.4
10	1,118	9.8
11	1,306	7.4
12	1,306	△4.5
2016/1	1,366	15.7
2	1,000	△25.3
3	1,062	8.4
4	1,409	20.2
5	1,085	△13.5
6	1,535	△16.0
7	1,432	5.1
8	1,082	△38.7
9	1,714	12.2



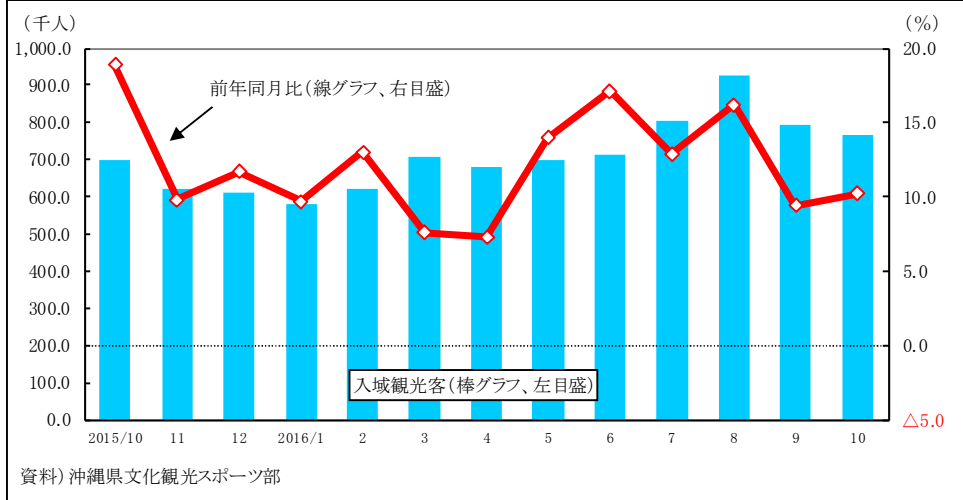
新設住宅着工戸数(9月)は、全体で前年同月比 12.2%増の 1,714 戸と 2 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同 14.4%増)」や「持家(同 26.3%増)」は前年同月を上回ったものの、「給与住宅(同 80.0%減)」や「分譲住宅(同 35.5%減)」は下回りました。



■観光関連： (良い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）…49ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2015/10	696.8	18.9
11	619.6	9.8
12	613.6	11.7
2016/1	581.6	9.7
2	622.5	13.0
3	709.2	7.6
4	681.5	7.3
5	697.1	14.0
6	714.4	17.1
7	805.8	12.9
8	926.9	16.2
9	793.0	9.4
10	767.9	10.2

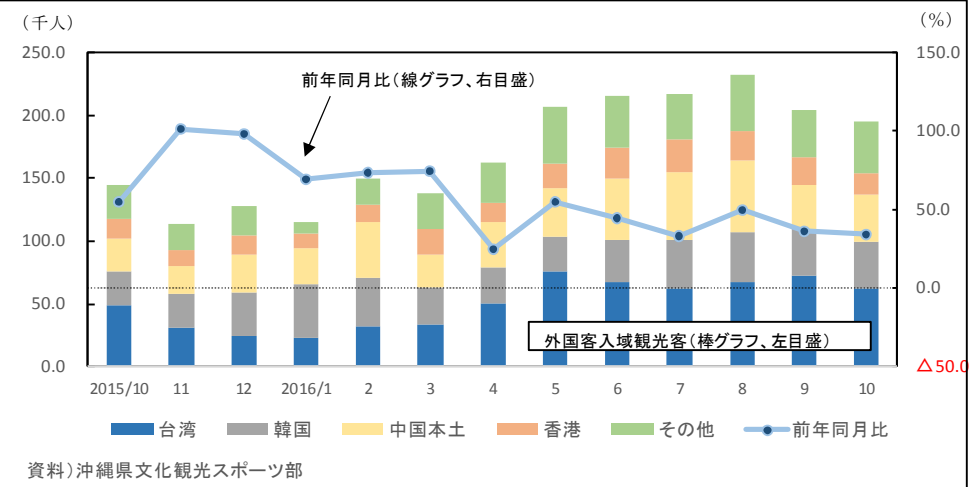


※外国客は乗務員等を含む

※上記 2016 年 5 月の数値については、沖縄県よりホームページにて数値訂正の公表(2016 年 8 月 19 日付)があったことから遡って修正した。

外国客 入域観光客数…39ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2015/10	145.1	54.7
11	113.4	101.1
12	128.3	98.3
2016/1	114.9	69.2
2	149.9	72.9
3	137.9	74.6
4	162.2	24.2
5	206.5	54.5
6	215.9	44.7
7	217.3	33.3
8	232.0	50.0
9	203.4	36.0
10	194.7	34.2



※外国客は乗務員等を含む

10月の入域観光客数は、71,100人多い767,900人(前年同月比10.2%増)となり、49ヵ月連続で前年同月を上回りました(10月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同3.9%増)」は573,200人と、継続的な航空路線の拡充効果や、羽田・伊丹一那覇路線、離島路線(関西-宮古・石垣等)及びLCC等の入込が好調に推移したことなどから、7ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同34.2%増)」は、194,700人と39ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数増加等により空路・海路ともに好調に推移したほか、国慶節の連休による旅行需要も加わったことなどから前年同月を上回りました。

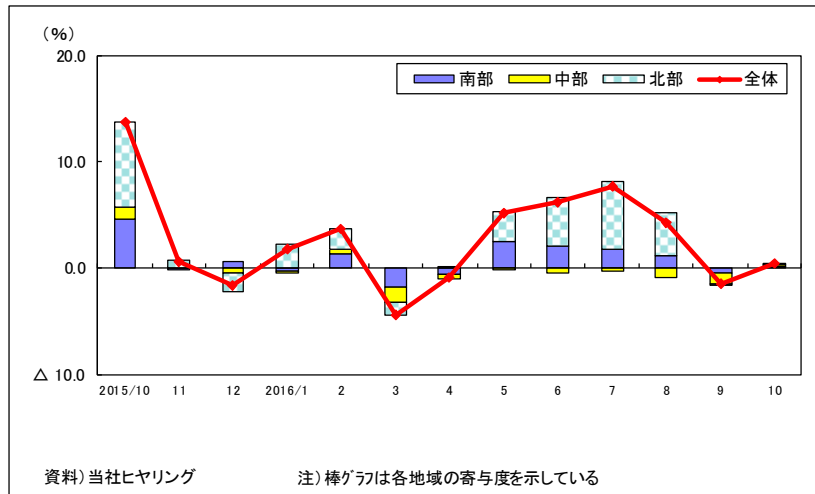
「台湾(同26.7%増)」「韓国(同38.5%増)」「中国本土(同45.6%増)」「香港(同4.9%増)」

※乗務員等を除く2016年10月実績=全体744,300人(同9.5%増)、外国客171,100人(同33.9%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…2カ月ぶりに前年同月を上回る。

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2015/10	r 13.7	r 10.9	9.8	17.2
11	0.6	△0.4	0.3	1.7
12	△1.6	1.4	△3.6	△3.8
2016/1	1.8	△0.7	△1.4	4.6
2	3.7	3.3	3.5	4.0
3	△4.4	△4.6	△11.4	△2.2
4	△0.9	△1.5	△3.0	0.3
5	5.2	6.5	△0.8	5.7
6	6.2	5.2	△3.6	9.2
7	7.7	5.1	△3.1	11.8
8	4.3	3.5	△6.9	7.3
9	r △1.5	△1.3	r △8.5	△0.1
10	0.5	0.2	1.4	0.4

*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



観光施設入場者数は、全体で前年同月より0.5%増加(2カ月ぶり)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同0.2%増と2カ月ぶり、中部は同1.4%増と8カ月ぶり、北部は同0.4%増と2カ月ぶりに前年同月を上回りました。

③ホテル稼働率…ビジネスホテルは前年同月を上回り、シティホテル、リゾートホテルは下回る。

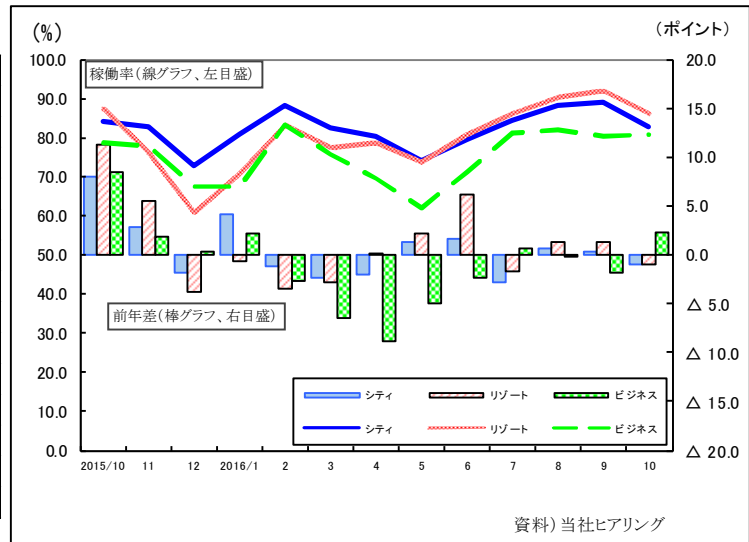
	稼働率(%)、ポイント					
	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2015/10	83.9	r 87.2	78.6	8.0	r 11.3	8.4
11	82.9	76.0	77.6	2.9	5.5	1.9
12	72.8	60.9	67.4	△1.8	△3.8	0.3
2016/1	80.5	70.9	67.3	4.2	△0.6	2.2
2	88.3	83.3	83.4	△1.2	△3.5	△2.7
3	82.3	77.3	75.9	△2.3	△2.8	△6.5
4	80.1	78.6	69.3	△2.0	0.2	△8.8
5	74.2	73.5	62.2	1.3	2.1	△4.9
6	79.6	80.7	71.3	1.6	6.2	△2.3
7	84.4	86.2	81.3	△2.8	△1.7	0.7
8	88.1	90.4	82.0	0.6	1.4	△0.2
9	89.2	92.1	80.4	0.3	1.4	△1.8
10	82.9	86.2	80.9	△1.0	△1.0	2.3

注)シティ9ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス7ホテル

注)2015年10月より、シティホテル対象施設数が増(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

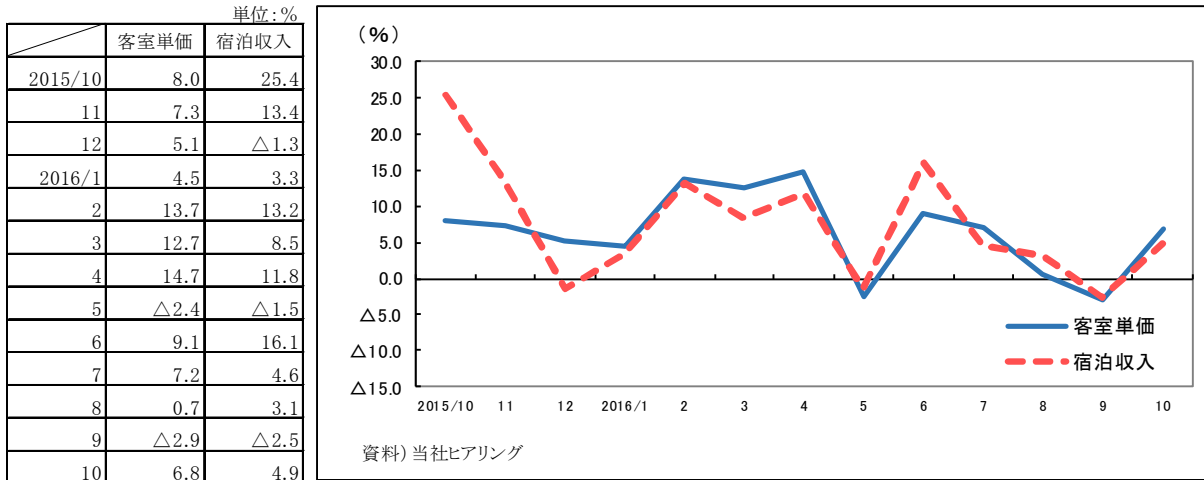
注)2016年4月より、リゾートホテル対象施設数が増(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

*公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



県内ホテル稼働率は、シティホテルが82.9%と1.0ポイント減少(3カ月ぶり)、リゾートホテルが86.2%と1.0ポイント減少(3カ月ぶり)、ビジネスホテルが80.9%と2.3ポイント上昇(3カ月ぶり)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。



※対象施設数:27施設(シティ9、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は27施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2015年10月より、シティホテル対象施設数が変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

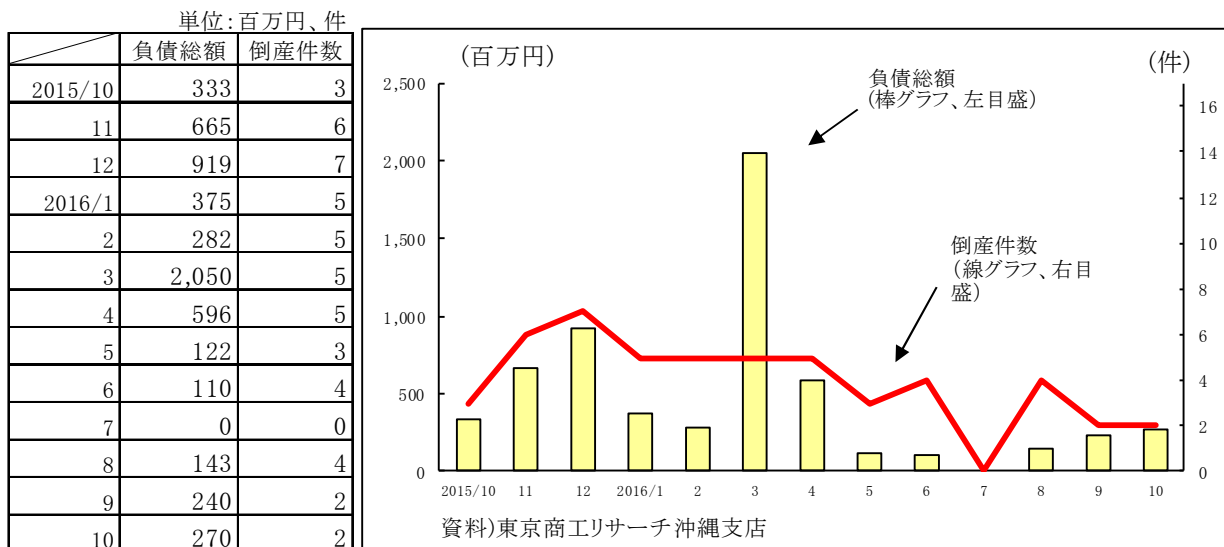
※2016年4月より、リゾートホテル対象施設数が変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。


ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比 6.8%増と前年同月を上回りました。**宿泊収入**も同4.9%増と前年同月を上回りました。

■企業倒産： (やや良い)

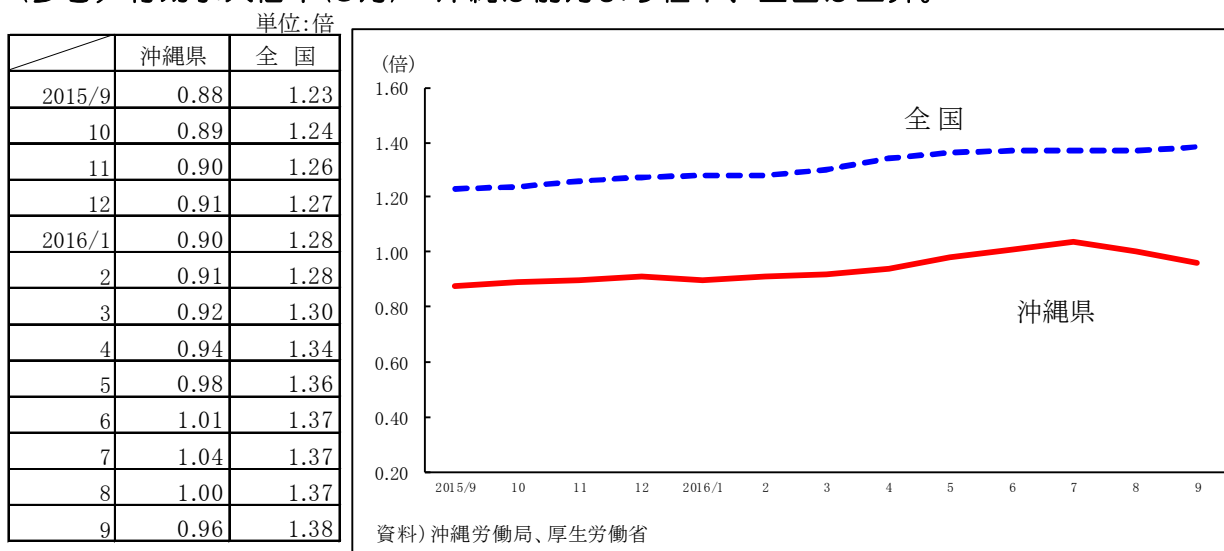
企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を下回る。



10月の**企業倒産件数**は、2件(うち大口倒産は1件)となり、前年同月より1件減少しました。負債総額は2億7,000万円となり、前年同月より18.9%減少しました。

【参考】雇用関連： (良い)

(参考)有効求人倍率(9月)…沖縄は前月より低下、全国は上昇。



注)季節調整済

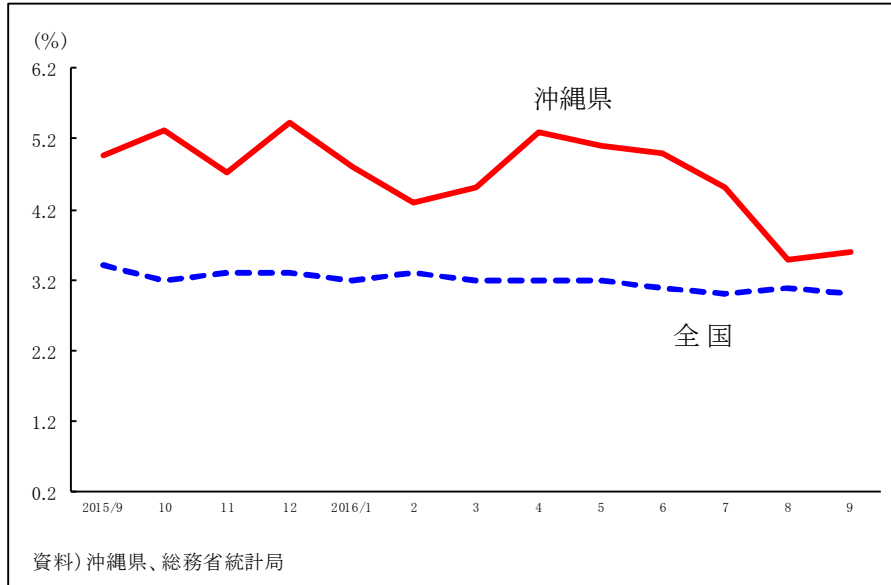
注)季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

9月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比3.4%減の25,846人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.4%増の26,823人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.96倍となり前月より0.04ポイント低下しました。

(参考) 完全失業率(9月)…前月より上昇。

	単位:倍	
	沖縄県	全国
2015/9	5.0	3.4
10	5.3	3.2
11	4.7	3.3
12	5.4	3.3
2016/1	4.8	3.2
2	4.3	3.3
3	4.5	3.2
4	5.3	3.2
5	5.1	3.2
6	5.0	3.1
7	4.5	3.0
8	3.5	3.1
9	3.6	3.0

注) 季節調整済



9月の完全失業率(季節調整値)は、3.6%となり前月より0.1ポイント上昇しました。